

閉会挨拶（7月22日）

運輸総合研究所主席研究員・研究統括の藤崎です。閉会に当たり一言申し上げます。

まず、基調講演、そしてパネルディスカッションのモデレーターもして頂いた東京大学の西成先生、パネルディスカッションに登壇頂いた、三菱食品株式会社の田村様、NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社の大辻様、株式会社Hacobuの佐々木様、株式会社野村総合研究所の藤野様、特任研究員として参加頂いた土屋博士 に厚く御礼申し上げます。また、長時間にわたりご参加いただいた多数の皆様、そして当研究所の活動を支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

本日島本研究員から報告があった提言については、物流の現状と多面的な課題を整理した上で、デジタル化を通じて物流システムを改善していく方策と施策などを提案しています。ただ、中には、更に掘り下げて研究しないとより具体的な解決策が見えない課題も残っています。当研究所でも、本日の議論を踏まえて、関係の方々の御協力と御支援を得て研究していく機会を模索して参りたいと存じます。

また、後ほど司会から紹介されますが、次回研究報告会を9月26日に、従来から更にスタイルを見直して開催する計

画です。この研究報告会の中では、本日の提言の基礎にした内外の先進事例（先刻の提言報告では、当研究所サイト掲載の参考資料に記載している旨案内あり）の工夫について、改めて取り上げて共同研究調査チームから報告する時間も設けたいと考えております。

さて、本日の物流シンポジウムは、いかがでしたでしょうか。終了後に参加者の皆様にアンケートを実施いたしますので、回答記入に協力頂けますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。

私からは以上です。この後、事務局から今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご参加いただき、誠にありがとうございました。